

単元まとめレポート 単元名「 平面図形 一作図 」

・単元の学習前と学習後を比べて、本単元の学習が、自分にとってどんな意味や価値があったのかを書こう
 【単元の学習後】

☆私にとって(作図)とは、(無げんにもなるもの)である。

私は、最初は作図はコンパスや分度器や定規などを使って描いていくけど、作図は、コンパスと定規を使って描いていくのが好きでした。

1時間目は、中点を見つける方法を考えました。中点は垂直二等分線を描いて見つけられることがわかりました。それを使うことで、円を作図できることがわかり、驚きました。

2時間目は、角の二等分線はどのようなようにかくか考えました。角の二等分線は垂直二等分線と似ていて、対角線を描き、二つの合同な四角形を作ることができました。

3時間目は、角の二等分線はいつでもかけるか、垂線はいつでもかけるか考えました。2時間目に比べてここを考えた。この場合でもかけることがわかりました。他にも垂線は3つの方法でかけることがわかりました。

4時間目では作図の問題をいろいろと解きました。これに、最短となる点Pを作る問題が難しかったです。でも垂直二等分線などを使うと解けました。

5時間目では、角度の作図もしました。始めは、75度の角度は90度を使った角度の引きで描けるかと思いましたが、三角形などを使い、15の倍数の角度はかけることがわかりました。同じ角度の作図でもいろいろな方法がありました。

6時間目では、正八角形はどのような作図方法があるか考えました。最初かけることは思っていたのですが、中心角を二等分し続けるといつでもかけることがわかりました。正七角形は描くことができないか疑問に思いました。

平面図形の作図の勉強を通して、私は、作図という範囲が広がりました。前までは分度器ばかりで描いてきたものもコンパスで描けたら、作図は以外と面白かったということがわかりました。

この単元の内容について、五・七・五調で表すと...

【五・七・五】

【理由】